

# 建設新聞

発行所  
建設新聞社

〒849-0301  
小城市牛津町乙柳  
1145-7

☎ (0952) 66 - 5750(代)  
☎ (0120) 63 - 5750  
Fax (0952) 66 - 5751

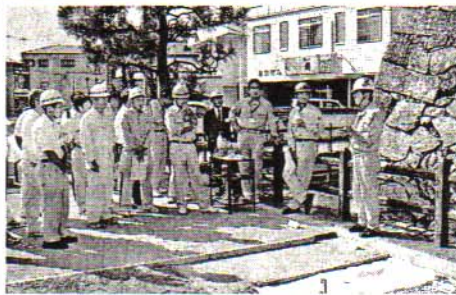
## 透・保水性工法見学会

路面温度低下に効果大

ミラクルソル協会

ミラクルソル協会(原裕  
理事長は15日、「透・保水性  
舗装工法」の説明会及び現

場見学会を開いた。国土交  
通省や県の出先機関、建設  
コンサルタント会社の技術  
職員ら70人余りが参加し、



唐津市内の施工現場を見学  
した。

現場見学会に先立ち、同  
市北波多の日本建設技術本  
社で工法説明があった。原  
理事長自らが透・保水性舗  
装工法の施工例を示しなが  
ら、特徴や効果などを詳し  
く解説した。

歩道などの路床や路盤材  
にガラス廃材を再資源化し  
た新素材「ミラクルソル」を  
使う同工法は、ミラクルソ  
ルの特質の一つである吸水  
性・保水性を利用したもの。  
雨水や打ち水がミラクルソ  
ルに染み込むと高い保水機  
能を発揮して、夏場の日中  
でも路面温度の上昇を抑制  
する効果があるという。さ  
らに、ミラクルソルの層を  
厚くしたり、透・保水性のイ  
ンターロッキングなどを組

み合わせれば、より高い抑  
制効果が得られる。実証試  
験では、従来の舗装工法に  
比べ、表面温度を最大で8  
度低下させた結果を残して  
いる。原理事長は「都市部の  
ヒートアイランド現象だけ  
でなく地球温暖化の緩和に  
も役立つ」と語り、環境の保  
護・創出につながる同工法  
の長所を強調した。

説明のあと、参加者は唐  
津市役所西側入口の歩道工  
事現場に移動し、透・保水性  
舗装工法で施工している状  
況を見学。施工を日本建設  
技術が担当しており、同社  
技術研究所の安高進材料研  
究室長が説明を行った。参  
加者は、半分完成した歩道  
に水をかけて保水状態を確  
認したり、敷き詰められた  
ミラクルソルを触りながら、



強度に問題がないのかなど  
を質問していた。

今回、現場見学会を開催  
した透・保水性舗装工法は、  
県の本年度第1回トライア  
ル発注に採用。県は今後、期  
待した通りの効果が得られ  
たかを検証し、その有用性  
を評価することになってい  
る。